

地域支援だより



令和2年3月6日

第101号

きらりNet

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

進路先を選択するにあたって

進路を考える際には、「将来像」を見据えることが必要となります。そのため、入学後や在学中の早目の対応が大切となります。小6、中3の節目で別の進学先を選択する場合があります。その際、何に気を付け、何をすればよいのか、だれに相談すればいいのかについて、ご紹介します。

① 小学校（通常の学級・特別支援学級・特別支援学校）から進学先へ



話し合い ・必要な情報を担任と保護者と共有し、進学先での学習や生活、将来の生活を見据えた話し合いをします。早ければ早いほど、無理なく進められるでしょう。

学校見学 ・様々な学校を見学して、学校の設備、環境面（バリアフリー等）を確認し、見比べます。
・みんなの登校日や運動会、学校祭の行事等は気軽に参観することができます。特別支援学校では、例えば学校祭で中学部の発表を見ることも、進路を検討する材料になるでしょう。

〈進学先としては〉 中学校～通常の学級 中学校～特別支援学級 特別支援学校中学部

教育相談 ・進学先の学習、生活についての情報を得ます。健康面やその他可能な支援に関する情報を確認、相談します。

体験学習 ・実際に体験することで、学校生活がより具体的にイメージできます。



② 中学校（通常の学級・特別支援学級・特別支援学校）から進路先へ

- ・卒業後の進路を見通した3年間の進路指導に関する計画に沿って進めます。進学の場合は、学校見学や教育相談、体験学習を十分に行います。就職の場合はハローワークに相談します。
- ・身体、病気の状態等をふまえた上で、「働くこと」についての学習も大切にしましょう。（職場見学、就業体験等）
- ・進学の場合は入学選考があります。（高等学校：必要に応じて特別配慮申請について検討します。）

〈進路先としては〉 高等学校（全日制、定時制、通信制） 専門学校 特別支援学校高等部 就職

〈進学先が決まったら〉

「個別の支援計画、個別の指導計画」等を用い、進学先と可能な範囲で引継ぎを行います。

〈進路先を検討する際の相談機関〉

市町村の教育委員会 主治医
秋田県総合教育センター
本校（秋田きらり支援学校）
地域の特別支援学校 等

キーワードは自己選択・自己決定！自分の強みを生かしましょう！

【 文責：進路指導主事 近江美歩 】

実践紹介⑨ 自立活動【小学部】 準ずる各教科等を学習するグループ

めざせミッションクリア！～スイートポテトを完成させよ～

(合同の自立活動)

「協力&挑戦」をテーマに、できるだけ自分たちの力でスイートポテトを作ることにチャレンジしました。事前に、自己理解に対する評価を行い、自分でできること、支援を必要とすることをシートにまとめ、調理活動を行いました。協力しないとできないこと、協力しようとしてかえって大変になることなど、様々な課題があり、思っていた以上に時間と労力が必要でしたが、できあがったときの達成感は大きいものになりました。

事後学習でビデオを見て振り返りながら、再び自己評価をすると、自分の力でできたこと、できると思っていたのにできなかったこと、ヘルプカードを使って依頼してできたことなど、事前の評価との違いに気が付きました。できないことをできるようにするだけでなく、「こうすればできる！」という自分なりの説明書をできるだけ増やしていくことが大切だと考えています。

【文責：佐藤美奈子】



教育専門監のコーナー

《立ち直る力を支える自尊感情》

【社会的自尊感情】

他者からほめられたり、認められたり、成功体験を積んだりすることによって高まる感情です。【役に立つ】【できることがある】と思うことで【自信がある】という状態です。

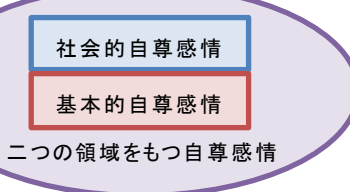
【基本的自尊感情】

自分の良い所も悪い所もあるがままに受け入れ自分を大切な存在として尊重するものです。身近で信頼する人と体験を共有し、同時に感情を共有することによって自分はこれでいいのだとわかっていきます。

【「今」を味わう】

「あなたが感じている思いを、一緒に味わっている人間がいる。」自尊感情を育てるのは、隣にいる人との体験と感情の共有。人は並ぶ関係の中で、周囲への信頼感を高め、相手との関係を深めながら、感情や行動を肯定的に捉え、立ち直る力を見つけていきます。

参考：「子どもの自尊感情をどう育てるか」近藤卓



共有体験の基本は、「2人が並んで同じものを見つめる」こと。子ども達は、スイートポテトづくりの学習を通して、「今」を味わいながら、様々な体験を共有します。「協力&挑戦」、自分たちの力で作り上げるために、周囲に協力を求め、互いに役割を担いながら、楽しい、うれしい、苦しい、つらいといった湧き出す様々な感情を共有していきます。

時折、不安な表情を見せる子ども達、不安や疑問の中で学ぶ子ども達が一番得たいもの、それは「これでいいんだよ」「大丈夫だよ」「このままでいいんだよ」という大人からのメッセージ。秋田きらりの小学部の子ども達は、「今」を味わう教師の肯定的な支援に支えられながら、様々な環境に立ち向かう強い土台を心の中に築いていきます。

〈文責：二階堂 悟〉

◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。

教頭 兜森 宏征 地域支援部主任 大友 明希子

住所：〒010-1409 秋田市南ケ丘1丁目1番1号

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575



「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

